

温篤新聞

通巻98号



『十五夜に現る大泥棒!』

ルパンにねずみ小僧に石川五右衛門等々と歴史上には稀代の
大泥棒が存在しますが、ここにも以前、『十五夜』の日だけに現れた大泥棒がいた事を皆様はご存知でしょうか?それは...

が、その前に十五夜について少しお話しさせていただきます。
十五夜というのは、旧暦の8月15日の夜の事を示し、例年は9月中旬頃になります。しかし今年は何と!!10月4日になります。何故、今年の十五夜がこんなに遅くなるかという、ま

たまたまなんとな!!今年は1年が13ヶ月もあるからなんです。もちろん旧暦の話ですが...

現在用いられている暦は新暦と言われ、別名「太陽暦」とも言います。地球が太陽の周りを1周するのに1年365日と考えます。但し、若干のズレがあるため4年に1度、閏年として調節します。

対して、旧暦は別名「太陰暦」と言われ、月の満ち欠けを1ヶ月と考えるため、新暦とは1年で約11日の誤差が出

医食同源

マイタケ

血糖値を改善する作用と血圧の降下作用が期待できます。コレステロール値を低くする働きもあるので、高血圧、動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞といった生活習慣病を改善し、予防が期待出来ます。免疫機能を高めるβグルカンが含まれており、抗ガン作用もあります。またチロシナーゼ阻害物質も含まれているので、皮膚にメラニン色素が出来るのを防ぎ、シミ・ソバカスの予防にもなります。



今月のツボ

内庭(ないてい)

「内」は、うち・なか・へや・いるという意味で、「庭」は、にわ。大広間の事です。従って、内庭というツボは名は、足の親指の隣の第二指と第三指の間で、指を開くと庭のように広がって



いるところという場所を現しています。場所は、ツボ名のように、足の甲で

第二指と三指の分かれ目に当たるところにあります。

一般的には、胃腸が弱って腹が張り、下痢をしている時などに用いられます。また足や膝が痛む、麻痺する、痙攣するといった症状にも用いられます。

このツボは大人でも子供でも慢性の病気の時にお灸で治療する事もあります。

るため、閏年ではなく、閏月が3年に1度入り誤差を修正します。それが丁度今年に当たり、5月・閏5月・6月と13ヶ月になっており、今年の十五夜が10月4日になっていきます。

十五夜と同じように用いられる言葉に『中秋の名月』というのがありますが、これは同じ意味ではなく、秋の季節の真ん中に出る満月の事を表します。

また「中秋」と書く場合と「仲秋」と書く場合がありますが、前者は秋の真ん中という意味から中秋、後者は初秋(7月)仲秋(8月)晩秋(9月)という意味から仲秋なので、どちらも正解という事になります。

但し、中秋の名月は満月という定義で、十五夜は旧暦の8月15日という定義と違うため、必ずしも一致するとは限りません。ちなみに、今年は2日遅れの10月6日が満月になります。

今年の夏はスッキリした空の日が少なかったもので、十五夜の頃にはスッキリ晴れた夜空を見上げたいのですが、天気が悪く雲などで隠れてしまっても、雲の上からほのかに照らす夜空を楽しむことを『無月』と言ったり、雨が降って直接見えなくても夜空の何処かでは存在する月を感じ愛でることを『雨月』と言ったりして風情として捉えますので、それも含めて楽しみたいものです。

十五夜には、ススキと共にお団子やこの時期に収穫される芋などをお供えしますが、その日にお供えした物が無くなると「神様が受け取った」と考えられているため、むしろ縁起が良い事として喜ばれました。これが大泥棒の正体です(笑)



二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはほしい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

二十四節気

秋分

(九月二十三日)

太陽は真東から出て真西に入り、春分と同じように、昼と夜の長さが等しくなります。秋分の日とその前後三日間を合わせた七日間が秋にお彼岸になります。



『みんなで仕事をする楽しさ』

仕事の上で、中心になって物事を進めていく時、それぞれが好き勝手なことばかり言って、まとまらないことがあります。また、自分の提案や意見に反論されると、自分の考えをすべて否定されているように思ってしまう。しかしそれは、それぞれが自分とは違う考えや自分の気持ちをいっているだけなのです。そう思うと、むしろ一人ひとりが積極的に自分の気持ちを表現できる、よい雰囲気であると思ふことが出来ます。

職場には、自分とは違ったいろいろな感じ方をしたり、異なった価値観や考え方を持っている人がいます。その違いがあるからこそ、仕事も広がりや深まりが出て充実していくし、それがみんなで仕事をする楽しさなのです。

「一日一話」より

七十二候

(九月二十二日と二十七日頃)

雷乃収声

(かみないすなわちこえをおさむ)

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、残暑も落ち着いて秋らしい爽やかな陽気に包まれる頃です。空の様子も夏とは異なり、雄大な雷雲の代わりにもこもことしたうろこ雲が現れます。夏に大暴れした雷さまも長い休みに入りますが、日本海側ではもうしばらくたつと今度は雪起こしの雷が冬將軍を連れてやってきます。

旬のやさしい

舞茸

人々が群舞しているように見えるから

とか、蝶が舞うような形だからとか、見つけた人が舞い上がって喜んだから等等、名前の由来については諸説あります。かつては北国の山深い場所に生える幻のキノコとされていましたが、今も天然ものは貴重で、流通しているのは大半が人工栽培されたものです。



9月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9月30日(土)はお休みさせていただきます。
23日(土)は祝日ですが営業致します。

執筆余話

8月の出来事でしたが、お陰様で温篤に移転して2周年を迎える事が出来ました。これもひとえに患者さんと経絡治療のお陰と思っております。御礼申し上げます。以前のつくほ治療院の時と同様に年月を重ねていけたらと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

さて、今年も経営者及び治療家として心苦しい時期を迎えようとしております。秋の季節は祝日が多い上に、運動会と県民の日とあり、更に店休日を増やしてしまい、ご迷惑をおかけしてしまいました。

鬼怒川が決壊して運動会が中止になるまでは仕事を優先していたのですが、幼稚園や小学校の限られた行事等には今しか無いのだなど父親の顔が出て来てしまい、心苦しいのはありますが、ご理解頂けたら幸いです。その代わりではないですが、23日は祝日ですが、通常通り行いますので、どうぞ御利用下さい。

